

税理士という仕事を学んで

三組 戸田 瑞基

私は、このトライやる・ウィークで、税金に関わる多くのことを学び、そして税理士という仕事が強く地域と結びついていることを知ることができました。

普段何気なく支払っている消費税が、どのような流れで納められているのかということを知りました。また、消費税を納めなくて良い特例があり、納めなくても良いのに消費税を徴収していることもあると知り、とても驚きました。

様々な事業所を訪れましたが、事務所の方々と税理士の先生が気さくにお話しされているのを見て、信頼関係が大事な仕事なのだと思います。

多くのことを学ぶことができ、とても嬉しかったです。ここで学んだことは各所で生かせると思っています。事務所の方々と事業所の方々に感謝の念が堪えません。本当にありがとうございました。

信頼される仕事

八組 青山 凜太郎

「税理士とは？」から始まった僕のトライやる・ウィークは、仕事の偉大さ、大事さ、難しさを知ることになった。税理士とは国民が国に税を納めるのにあたっての仲介役である。つまり税理士は国民を補助する人であるということ。そのことを頭に入らず消費税の作業を行ってしまった。もちろんそんな気持ちでやってしまったので失敗した。このミスに気付かなかったらどうなっただろうか、わざとでなくても信頼を失うことになる。もう少し丁寧に時間をかけていればどうだっただろうか。また、期限を過ぎることも信頼を失うことになってしまう。

今回のトライやる・ウィークで学んだことは、信頼されることで仕事が成り立つということだ。どんなに失敗したことがなくても一つのミスで信頼はなくなる。お金を扱う仕事は常に完璧でないといけない。だから仕事は成り立っている。仕事はただ難しだけではないと思った。どれだけ簡単でも一つのミスが信頼関係につながることを学んだ。